



学級通信 2020年6月26日(金)

第8号

文責：小山 知倫／篠木 剛

「思いやり」ってなんだろう

慌ただしい日々が続いています。授業、部活動も少しずつ慣れてきて、なんとか食らいついて行こうとする様子が伺えます。学級日誌を見ると授業では、居眠りがみられるようで心配です。1年生は何かとエネルギーに溢れて頑張っている人が多く、疲れやすいのだと思います。まずは授業を最優先に学校生活を送ってほしいと思います。

さて、今回は皆さんに「思いやり」について伝えたいことがあります。最近、係活動や授業、掃除など、様々なところで、「思いやり」を感じる行動をしている人が出てきています。「思いやり」は、人への気遣いの心のことですが、周りの仲間や他の人の立場になって、行動を起こすことで伝わります。

実は、この「思いやり」は意識しないうちに失われてしまうことがあります。しかも、それは誰にでも起こりうることなのです。思いやりが失われる1つのケースとして、「忙しいとき」が挙げられます。人は、自分のことで忙しくなりすぎると、他の人の立場のことを考えられる状況にはならなくなってしまいます。それは、この先社会人になっても同様です。皆さんは、最近そういったことはありませんか？

では、どうしたらいいのでしょうか。方法はいろいろあると思いますが、落ち着いて考えられるときにいくつか挙げてみましょう。落ち着く時間がない人は、まずは心を休める時間を少しでも設けることを意識して過ごしてみてください。

相手のことを考えた態度や発言は、すぐに実現できるものではないと思います。ただ、高校生の皆さんに伝えたいことは、それを指摘してくれたり、アドバイスしてくれたりする先生方や仲間、先輩、保護者の方、地域の方々のことを大切にしてほしいということです。これからの皆さんの行動次第で、この奥尻高校で自分を変え、もっと楽しく過ごせるクラスを作ることができます。学校や社会、世界を変えるためには、まずは自分を変えることから始めるのです。ささいな行動の変化でもいいのです。気付いたことをそのままにせず、すぐにやってみることを意識して下さい。

エネルギーで明るい皆さんに、周囲への「思いやり」が加わると、さらに素敵なクラスになるんだろうなど、この一週間の様子を見て感じ取りました。まずは、できることからやってみてください。仲間や先生方はあなたの行動を思っている以上によく見えています。「見られている意識」をもって過ごしましょう。

そばにいたいよ
君のためにできることが 僕にあるかな
いつも君に ずっと君に
わらっていてほしくて
ひまわりのような まっすぐなその優しさを
温もりを全部
これからは僕も 届けてゆきたい
本当の幸せの意味をみつきたいから

誰かのために
行動を起こすこと
ができますか？



秦基博『ひまわりの約束』

読書のススメ

今号では、学年付の篠木先生に話題を提供してもらいました。篠木先生は、図書館の担当（司書）です。朝自習の時間で、読書の習慣を身につけることで、皆さんにとってどんなメリットがあるのかについても話してくれます。

ゲームもいい（私はRPGが好きです）。

勉強もいい（学生の本分です）。

運動もいい（何をするにも体が資本です）。

釣りもいい（私は渓流釣りが趣味です）。



でもでもでも、**読書**をしてみませんか？

すでに読書が趣味の人はあらためて言うまでもありませんが、読書が嫌い、読書したことがないという人は趣味の幅・人生の幅を広げる意味でも読書をしてみませんか？

読書をすることで獲得できること。

- ・語彙力がUpします。
- ・想像力、空想力、抽象的事象の把握力がUpします（脳内改革）。
- ・受験国語に挑む基礎になります。
- ・いろいろな世界や物語を知ることによって人生が豊かになります。
- ・現実世界で苦境にあるときに、切り抜けるヒントや勇気をくれます。
- ・何より「楽しい」と思う時間が増えます（人にもよるかな）。



というわけで私のおすすめの本を紹介します（全部図書室にあるもの）。

「**クジラアタマの王様**」伊坂幸太郎 ＊コロナ禍の現在にタイムリーな本

「**さよならドビュッシー**」中山七里 ＊音楽好きにおすすめ

「**リカ**」五十嵐貴久 ＊とにかく恐ろしい

「**坂の上の雲**」司馬遼太郎 ＊社会が不安定になっているときに人はどう生きるのか、についてヒントになるかな。

江戸から明治にかけて人物群像。

その他「ハリー・ポッター」シリーズや東野圭吾、宮部みゆきなど現代の人気作家の書物も多数図書室にあります。

勉強の仕方や海外の大学についての書物もあります。

ぜひ図書室に行って、気に入った本を借りて読んでみてください。

